

優しく強い子に！



<http://www.minamih.net/>
21・11・4(水)
南NEWS no 79

1年生 準々決勝突破！！ 3位以内確定 準決勝進出！！



前半立ち上がり
ナギト君の得点！！
南が先制！
よく詰めたね！！

11月3日(水)文化大Gにて行われた1年生市民スポーツ大会。
南の1年生は3-0にてみなみ野を破り、3位以内確定 準決勝進出です。



前半立ち上がり、相手ゴール前に攻め込んだ南はナギト君がGKがハンプルしたボールを奪い、押し込んで先制！
時間をおかず相手ペナ左に侵入したスカイ君が鮮やかなWタッチでDFをかわして2点目をゲット！前半は相手シュート0の2-0で終了。
後半開始まもなく相手ペナルティアーク中央のあたりでFKを得てキヨマサ君が右足のミドルシュートを直接決めて3点目！
試合を決定づけました。後半の相手はシュート0の完勝です。
次は準決勝です。楽しみです。



スカイ君の2点目



ナイス バランス！！



南の暴れハッチャクたち
準決勝の相手は強豪！
相手にとって不足なし！
ドリブルサッカーで勝つぞ！

写真は松尾さん提供 THANKS

6年生 マサムネ君のお母さんからのメールです。
許可をいただいたので掲載します。
いつも GAMBA ニュースをありがとうございます！

今回のフィンランドの学びについて、とても興味深く読ませていただきました。

日本では、授業中にわからないことを「わからない」と自己主張し伝える子どもは、教室内の調和を乱す、だなんて一部の教師に言われてしまう事もあるそうですね。

フィンランドやイエナプランで有名なオランダでは、すぐに疑問を口に出し、それに対して教師達も面倒くさがることなく、互いに納得するまで対話を繰り返す、それによりコミュニケーション力や考え方のバリエーションが多様にある事などを自然と学ぶ事ができる、と本で読んだことがあります。

そのような中で、子どもたちは、担任の先生以外にも気軽に相談することができ、また先生方も気になる子は教職員全員で共有し、皆んなで子どもを育てる意識が学校にあるそうで、相互に安心を感じる環境作りをしているそうです。
やはりこうした環境は子どもにとって健全な成長を促すのでしょうか、フィンランドやオランダは、世界で最も子どもの幸福度が高く、学力調査でも高い成果を上げていますね。

本当の学力とは何か、学びとはなにか、子どもたちの幸福度からみても、他国に学ぶところはたくさんありそうだなと、再度認識いたしました。



今秋は寒くなるのがとても早く、朝晩はとても冷えますね。どうぞご自愛下さい。

矢上の返信です。
とっても嬉しい返信です。
私は担任時代、クラスのみんなが意見を出し合って問題を解決したときはわら半紙4分の1に日付と宝物と書き、3行目に「みんなで問題解決」と書いて黒板の上に掲示していました。
漢字テスト全員合格や全員発言とかも入れて10個の宝物がたまると1時間を使ってお祝いのお楽しみ会をしていました。
「教室は間違ふところ。ああだこうだと言ひ合う中で本物を見つけていくんだ」という絵本にもなった静岡の中学校の榎田先生の言葉を教室に掲示して子どもたちと授業を創っていました。

サッカーでも子どもたちが主役です。
自分たちの力でめざすサッカーを創ることが大切だと考えています。

有り難うございました。

